

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 63  
秋号  
令和元年  
(2019年)

# 環境ひらかた



## リユースコーナー好評です！



今年6月、環境情報コーナーの一角に、ごみ減量の一助となることを願いオープンした「子ども服・子ども用品リユースコーナー」が好評を博しています。

登録者数は42名、利用点数は240点強に上ります。(9月10日現在)

役目を終え処分され「資源ごみ」になる運命だったかもしれない、これら240余りの品々は、リユースコーナーを利用していただく方々によって、また有効に生かされることになったのです。

私たちの周りにはこのようなものがまだまだいっぱいあると思います。有効活用したいものです。

リユースコーナーへの物品は無償で提供していただき、ほしい方に、無料で提供しています。

これからの季節、秋冬物も並べていきますので、皆様もぜひ一度「リユースコーナー」をのぞいてみてください。

### \*\*\*\*\*目次\*\*\*\*\*

リユースコーナー好評です	P 1
夏のインターンシップ生 活動記	P 2・3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL.29	P 7
環境ミニ知識	P 8





# 環境ミニ講座 前期報告



人気をいただいている「環境ミニ講座」の前期講座が終わりました。前期は6月のMyハンガー作りに始まり、夏休みの7月8月には子ども向けに「手作り乾電池」「ヨシ笛作り&川の生きもの観察」をそして前期最後は「レンジで簡単！お団子づくり」を実施しました。

その中から、インターン生も参加協力して実施した「ヨシ笛作り&川の生きもの観察」について、インターン生の報告をご紹介します。

6/27

## MYハンガーづくり！



リユースコーナー開設に当たって、ハンガー作りをしました。クリーニングのハンガー仕上げについてくる針金ハンガーを活用して、端布で自分好みのMyハンガーにリメイク！

このように、私たちの周りには、活用できるものがいっぱいあります。見回してリメイクにチャレンジしてみてはいかがでしょうか？

8/22

## 夏休み特別企画「ヨシ笛作り&川の生き物観察」



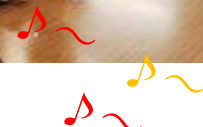
### 大盛況！「ヨシ笛作り&川の生き物観察」

31名の子どもたちが集まり、無事に終わることができました。ヨシ笛作りでは、完成すると「ブーブー」と音を鳴らし、楽しそうな声と共に部屋中に響きわたっていました。

川はふだん、危険防止のため近づかないように呼びかけられていますが、スタッフと12名の保護者の見守りのもと、新鮮な様子で網と箱メガネを使って遊んでいました。

水があまりにも気持ち良かったのか、普段着のまま座り込んでいる子たちも…！枚方の環境の素晴らしさをこれからも伝えていきたいなあと思います。

報告：河野 ひかる



7 / 29

## 手作り乾電池に挑戦！

参加者は、子供 22 名と保護者の方、計 50 名。  
 講師は、びわこ成蹊スポーツ大学名誉教授の青木豊明先生です。  
 私たちの暮らしに欠かせない電気。これを自分たちでも作り出すことができる、ということが体験できる手作り乾電池づくり。温度差や振動など電気を作り出すために利用することのできる“力”を学び、環境に負荷をかけない方法で電気を作る大切さや電気を大切に使うことを考える時間となったと思います。



9 / 26

## レンジで簡単！「お団子づくり」

中秋の名月は過ぎましたが簡単月見団子づくりに挑戦！月見団子と言えば三宝にピラミッドのように積まれた白いお団子のイメージですが、大阪や京都など、関西では写真のようなお月見団子を作ります。今回は残りごはんをつかって作ってみます。

(これを書いている時点では、まだ終わっていないのです。)



## 夏のインターン生 活動記



### インターンシップを経験して

神戸女学院大学 3年 河野ひかる

初めての長期期間インターンシップで最初は緊張していましたが、本当に温かい方たちばかりで楽しく活動させていただきました。活動を通して、相手にしっかり想いを伝える大切さを強く感じました。環境についての知識を得たこと、それを誰かに伝える力も身に付いたと感じます。エコ意識をもってほしいという想いがあったても、啓発する方法が上手でなければ意味がないと気づかされました。特に、会報誌制作で文章力を磨いたことにより、これから卒業論文を書いていく上でも非常に参考になると思います。約1か月半の間、たくさんの経験を積むことが出来ました貴重な機会をいただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

### インターンシップを経験して

関西大学 2年 橘川奈々



私はこのインターンを通して、日常生活では気づくことができなかった発見を得ることができました。環境という大きなテーマから企画立案し、具体的に掘り下げていく考え方や、相手に明確化した内容を伝える難しさを学び、自分の中での課題を見つけることが出来ました。今後の学生生活ではこのインターンで取得した事を糧に大きく飛躍していきたいと思っています。



# 部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

## 環境教育部会

### くらわんか塾ではこんなことを・・・

毎年実施している環境出前授業担い手養成講座「くらわんか塾」。今年は7月13日（土）、7月20日（土）に行いました。

初日は環境問題と環境教育の現状に続き、枚方市の環境基本計画と環境の取り組みの紹介と環境ネットワーク会議の役割についての話でした。また、環境ネットワークが行っている事業の中から主な3つと、4つある部会の活動紹介でした。2日目は、ひらかた環境ネットワーク会議の環境教育部会から、実際の環境出前授業についての話の中で、環境出前授業は、限られた時間と人員の中での活動で、苦労は多いが、自らも共感して学び、子供の柔軟な感覚を知る機会でもあり、また自己実現にも役立つ活動であるなどの紹介がありました。

続いて環境出前授業のケーススタディーと、環境授業の在り方や想いについてフリーディスカッションを行いました。

2日間を通じ、自らが環境のひずみに気づき、行動できる子供たちの育成の重要性を学びました。（9月27日（金）には、オプション企画として枚方市の環境関連施設と枚方市野外活動センターで「生物多様性の環境学習」を行います。）

## 自然エネルギー一部会

### 夏まつりでピコ水力発電を大いにPR！

会報誌夏号でお知らせしていた「けやき通り de 夏まつり」が7月28日（日）、8月25日（日）の両日開催され、当部会も、祭りの主催者から出展の機会をいただき、“こもれび水路”で、ピコ水力発電の発電実験と、手廻し発電体験コーナーとして参加しました。「手廻し発電体験コーナー」は、環境教育部会の皆さんが協力してくださいました。

祭りということで親子連れも多く、沢山の方にピコ水力を知ってもらうことができました。足を止め、ピコ水力の説明を熱心に聞いて下さる若い方も多く、思いのほかの関心の高さに驚かされました。

また子供たちは、手廻し発電体験を通し、電気が、光や信号、動力などいろいろな形で暮らしの中で使われていることを知ると共に、熱に代わるのと信号に代わるのでは電気の使用量が違うことも体感してもらった機会となりました。





## まちづくり部会

### “ひらかた ええところ！”再発見フォトコンテスト

まちづくり部会は9月8日(日)に開催されたNPO フェスタにて、“ひらかたええところ！”再発見フォトコンテストを行いました。

当部会では、歴史的・文化的遺産が残るところや、新しくできたところ等を、ボランティアガイドさんの案内で歩きながら、魅力的なひらかたを再発見してもらい、住みよいまちづくりに生かしていこうと、「歴史ウォーク」イベントを年2回実施しています。

今回の“ひらかたええところ！”再発見フォトコンテストでは、まだ知られていない枚方の魅力をより多くの方に知ってもらいたいとの思いで行ったものです。コンテストという形で、これまで実施したアンケートで「良かったところ」の問いに対し、回答の多かった18ヶ所を写真で紹介し、「行ってみたいところ」「残したいところ」3カ所ずつ選んでもらいました。

当日は、天気も良く100人近くの方が投票に参加してくださいました。また熱心に写真や説明文も見て、色々と質問される方も多くおられました。

「自宅の近くにこんなところがあるとは知らなかった」「知らない所がたくさんある。もっと知りたい」「桜の季節に是非行きます」「写真と説明文が良かった」等々好評でした。投票結果は、次下記通りです。この結果は今後に生かしていきたいと思います。

	1位	2位	3位
行ってみたいところ	尊延寺の仏像	水面回廊	穂谷の里山の風景
残したいところ	穂谷の里山の風景	枚方市宿場町街道	禁野の土塁



## 公共交通部会

### 第29回バス！のってスタンプラリー開催

すっかりお馴染みの「バス！のってスタンプラリー」の第29回を“スイーつG02”と銘打ち下記の要領で開催します。参加賞も充実。是非ふるってご参加ください。

日時：10月27日（日） 8：15～受付開始

集合：市民会館大ホール前





# お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

## 天の川クリーン&ウォーク

毎年恒例の「天の川クリーン&ウォーク」の第18回が、下記の要領で開催されます。私たちに馴染みが深く、「天の川・七夕伝説」で市民に親しまれている、自然豊かな天の川を、次世代に繋げるために実施されています。

環境ネットワーク会議も団体として参加しています。皆様もぜひ積極的にご参加下さい。お待ちしております。

- ★ 日 時：10月26日(土) 9:30 集合  
10:00～開会式後約1時間程度  
雨天の場合は11月2日に延期
- ★ 集合場所：浜橋東詰め右岸下流側 河川敷



去年の参加の様子です。

## 歩いてまちづくりを考えよう 「くずは周遊ウォーク」

まちづくり部会主催の「歴史ウォーク」を下記の要領で実施します。

今回は「くずは周遊ウォーク」と題し、継体天皇の伝承地や市民の森、交野天神社などを訪ねます。全行程は約4km。これらの地を巡り、歴史文化遺産の保存と活用を考えてみませんか。



- ★ 日 時：11月16日(土) 9:30～12:30
- ★ 集 合：樟葉駅前広場(改札前) 9:20 集合 9:30 出発
- ★ 参加費：300円                      ★ 解 散：樟葉駅

## ごみ減量フェアのご案内

今回で18回目となる「ごみ減量フェア」が下記の通り今年も開催されます。

ごみ収集車の駐車場を利用したフリーマーケットや辻学園栄養専門学校の生徒による食材を使い切るおいしい料理の紹介、又パッカー車を使ったごみの収集体験など、楽しくごみ減量が学べるイベントです。

環境ネットワーク会議もブース出展をし、エコ宣言のPR活動と、今年度作製した「ごみの出し方早わかり」のリーフレットを配布します。ぜひ足を運んでみてください。

- ★ 日 時：11月3日(日) 10:00～14:30
- ★ 会 場：穂谷川清掃工場

※スタッフとしてご協力いただける方、大歓迎です！ご連絡ください

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「各地で進む再エネ 100%のまちづくり」ともう一つは「アマゾンの森林破壊」の問題です。

### ◆各地で進む再エネ 100%のまちづくり

昨年の北海道地震の直後、道内のほぼ全域が停電するという「ブラックアウト」が起きました。そして今年、台風 15 号により千葉県で広域停電の被害が起きました。10 日たった 20 日時点でもまだ 2 万戸が停電の状態が続いているというのです。

こうした大規模停電のリスクは今後どこで起きるかもしれないという状況の中、各地で、地域に必要な電気を再生可能エネルギーで賄う、いわゆるエネルギーの地産地消“再エネ 100%のまちづくり”が各地に出始めています。

まずは、昨年ブラックアウトが起きた北海道は石狩市で、工業団地の一角 60 ヘクタールを「再エネ 100%」エリアにする計画を打ち出し、2021 年の稼働を目指しています。

そして今年 7 月には、ダイワハウスが千葉県船橋市に東京ドーム約 1.2 個分の敷地に 2021 年の完成予定で建設する 11 階建てマンション、低層総合住宅、戸建て住宅、商業施設の大規模複合開発で、「再エネ 100%のまちづくり」を開始すると発表しました。

更には先月 9 月 17 日には、パナソニックも必要な電力をすべて再生エネルギーで賄うなど、最先端の技術を取り入れた「スマートタウン」を吹田市の工場跡地に建設すると発表しました。こちらは 2020 年に着工 2022 年の利用開始を目指すというのです。

このように再エネへの移行が進んできている一方、尚解決できていない福島原発の汚染水の問題があります。こちらにも注視していきたいものです。

### ◆アマゾンの森林破壊が加速

アマゾンの森林火災が大きな問題となっていますが、7 月の CNN のニュースでも、「ブラジル国立宇宙研究所はアマゾンの熱帯雨林の破壊が加速していると警告した」と伝えていました。今年 1 月にブラジルの大統領に就任したボルソナロ大統領が、経済回復に向け、アマゾンの開発を進めるという、森林保護とは逆方向の政策を発表したため、その政策が森林破壊に影響していると指摘しているのです。

アマゾンには世界最大の熱帯雨林で、大気中の酸素の約 20%を供給し、地球の肺とまで言われているほど、地球温暖化の防止に極めて重要な存在なのです。

このように地球温暖化の防止にとって重要なアマゾンの森林ですが、そこで起きている火災を、私たちの暮らしとは無関係なものと言い切れるのでしょうか？ブラジルの大統領の政策が経済の回復にあるというならば、経済的貧困の原因のその一端に、私たちの暮らしも少なからずかかわりがあるかもしれません。世界の様々な事柄を自分事として問題を引き寄せ、想像し、考えたいですね。

# 環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



## 〜〜日焼け止めと環境の意外な関係〜〜

オゾン層破壊という言葉を知ると、フロンガスによる影響をイメージされる方も多いと思います。そのフロンは、日本は、ウィーン条約やモントリオール議定書を受けて1996年に特定フロンは全廃されています。フロンによるオゾン層破壊は収束を迎えているといわれています。

紫外線量が増えている紫外線対策として日焼け止めをよく使われている方が多いと思います。

実は…ある成分の入った日焼け止めは環境に悪影響を与えているという報告があります。

その成分は、「オキシベンゾン」と「オクチノキサート」という紫外線吸収剤で珊瑚を死滅へと追いやるといのです。ハワイでは2021年からこの成分の日焼け止めが禁止されましたが、日本ではまだ規制されていません。このように、何気なく使っている生活用品の中には環境に負担をかけているモノも存在します。



体の中から栄養摂取と紫外線対策をしよう！

## \*\*\*\* 食べる日焼け止め “ファイトケミカル” !? \*\*\*\*

ファイトケミカルを摂取することで**抗酸化力・免疫力アップ・紫外線予防**の効果があり、その食材には、

**ポリフェノール類** …ベリー類、なす、アーモンド、赤クルミ、ピスタチオ

**カロテノイド類** …トマト、キャベツ

**合流化合物** …にんにく、ねぎ、大根

**テルペン類** …レモン、オレンジ

**その他** …キノコ類

などの食材が挙げられます。



## ひとこと



前号でゴーヤの苗が抜かれてしまった！と書いたところ、多くの人に「ひどいことする人がいるねー」と声をかけていただき、会報誌読んでいただけていることを実感し嬉しく思いました。

その後抜かれることはなかったものの、今年は生育が例年より芳しくなく、実も小さく収穫も今一つでした。緑のカーテンモニターの方の報告書にも同じような事が書いてあったので、気候の影響かなと思っています。しかし、MYゴーヤ参加者の方々がここで仲良くなられ、毎回和気あいあいと楽しんで参加くださった事が何より嬉しかったです。(^^)v

## ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第63号

令和元年 10月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています